



4月18日 鳴沢地区 春祭り

清々しい春の晴天のなか、太々神楽が奉納され、勇壮な、そして華麗な舞が披露されました。

2021
No.44

令和3年5月1日発行

3月定例会

- 令和3年度当初予算を可決 一般会計 前年度比2.7%増 …… P2~3
- 新年度 議会が注目する事業はこれだ!! …… P4~5
- 当初予算をチェック! …… P6~7
- 3月定例会で決まったこと …… P8~11
- 委員会活動「現場の声」を吸い上げ
増加するアライグマの獣害対策を など …… P12~13
- 一般質問 村政を問う!! …… P14~16
- 議会だよりモニター通信 …… P17
- 村民の声「興味深い郷土史と世界史の繋がり」 …… P18

新型コロナウイルス ワクチン接種態勢を整備

3月定例会 会期：3月11日～18日（8日間）

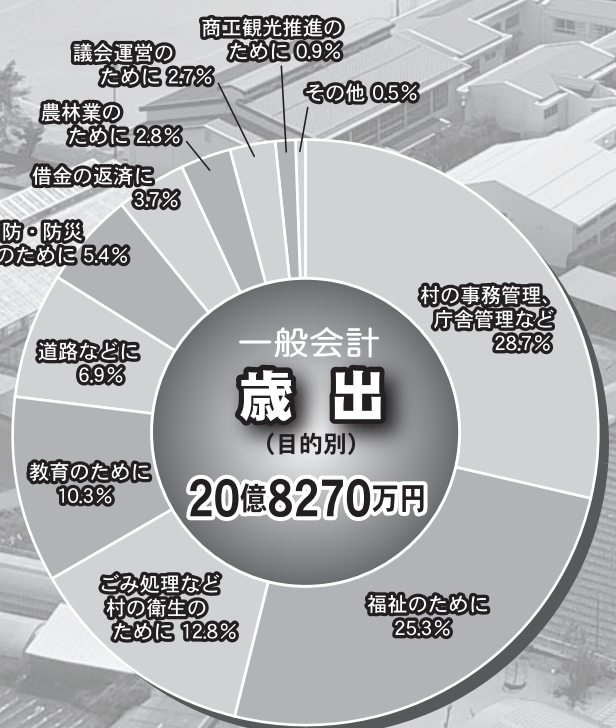
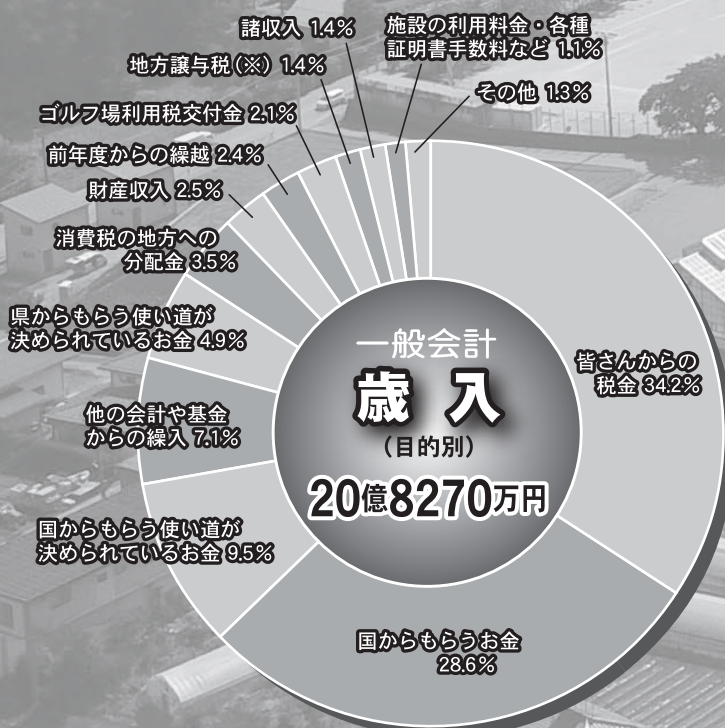
今定例会では、令和3年度の事業と予算を決定する当初予算をはじめ、令和2年度補正予算、各種条例改正・制定案件、指定管理者の指定、人事案件、意見書提出など合計30議案が提出され、慎重に審議した結果、いずれも賛成全員にて原案可決しました。

当初予算の審議では、新型コロナウイルスワクチン予防接種費用や道の駅なるさわの浄化槽整備工事費、物産館等のハエ対策としてエア

カーテンの設置費用、小学校の手洗い場に自動水栓を整備する費用などが可決されました。（詳細P4～5）

最終日には一般質問に5名の議員が登壇し、新型コロナウイルス感染症追加支援対策や水道管の耐震化の状況及び整備計画、新庁舎建設の進捗状況や今後のスケジュールなど、様々な角度から村の姿勢を問い質しました。

（詳細P14～16）



※地方譲与税

国税として徴収した特定の税目の収入の全額又は一部を、地方公共団体に譲与するもの。

令和3年度 当初予算を

可決

総額29億4974万円 のむらづくり

(万円未満四捨五入)

一般会計 20億 8270万円
特別会計 8億 6704万円

前年度比 2.7% (5397万円) 増
前年度比 6.7% (5413万円) 増

一般会計のおもな歳入

- ◆村 税 7億1148万円
- ◆地方交付税 5億9612万円
- ◆国庫支出金 1億9673万円
- ◆県支出金 1億266万円

一般会計のおもな歳出

- ◆道の駅なるさわ浄化槽改修工事 9942万円
 - ◆村道改良事業 6136万円
 - ◆新型コロナウイルスワクチン予防接種事業 3695万円
 - ◆小学校手洗い場自動水栓整備費 166万円
 - ◆物産館・軽食堂エアカーテン設置工事 132万円
- (詳細P 4~5)

昨年度同様、積極的に国・県支出金などの特定財源(※)を活用しています。

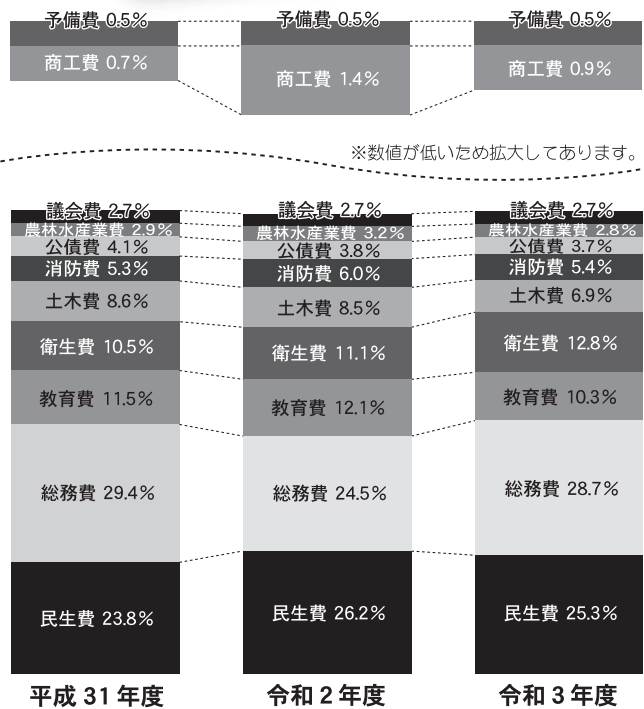
※特定財源

使い道が決まっている財源のことで、道路などの建設事業に使うために国からもらう補助金などのこと。

令和3年度一般会計・特別会計予算額

会計名	予算額	増減率 (前年度比)	
一般会計	20億 8270万円	2.7%	
特別会計	国民健康保険	4億 546万円	1.3%
	簡易水道事業	9478万円	6.8%
	介護保険	3億 1431万円	14.1%
	介護予防支援事業	376万円	292.8%
	後期高齢者医療	4874万円	2.9%
合計	29億 4974万円	3.8%	

一般会計予算の推移



予算推移の分析

一般会計の支出分類からみると、昨年度大幅に減少した総務費が、道の駅なるさわ浄化槽改修工事などにより大幅な増加に転じております。

衛生費についても、新型コロナウイルスワクチンの予防接種事業が開始されることに伴い、前年度よりも増額となっております。

民生費の占める割合は依然として高く、自立支援給付(※)助成事業費など、福祉・医療費に大きな予算が見込まれています。

一方で、土木費は村道改良工事の減などにより減少し、また、教育費も、新型コロナウイルス感染症予防のため、ロードレース大会が昨年度に引き続き中止されることなどから、減少となりました。

※自立支援給付

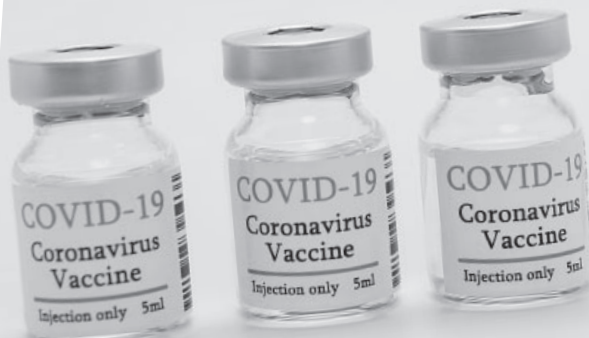
障害者総合支援法に基づき、利用するサービス費用の一部を障害のある方へ個別に給付するもの。

新年度

議会が注目する事業はこれだ!!

令和3年度予算に盛り込まれた注目事業を一部取り上げました。

(この画像はイメージです)



新型コロナウイルス ワクチンの接種態勢を整備 3695万円

未だ収束が見えない新型コロナウイルス感染症のワクチンの予防接種がいよいよ始まります。コロナ対応で多忙を極めるなか、担当部署も大変かと思われませんが、村民が少しでも安心して生活できるよう、スムーズな接種態勢の構築が望まれます。

教室の手洗い場



小学校の手洗い場 に自動水栓を整備 166万円

新型コロナウイルス感染症予防対策として、小学校の手洗い場に非接触型感応式の自動水栓が整備されます。

村道Ⅱ-5号線



村道Ⅱ-5号線 に区画線等を敷設 99万円

住民の声をを受けて議会からも交通安全対策を要望していた、国道139号吉野荘東側の交差点から鳴沢ゴルフ倶楽部へ通じる村道Ⅱ-5号線について、区画線・カーブミラー敷設などの対策がとられます。

道の駅なるさわ
物産館



道の駅のハエ対策として 132万円 エアカーテンを設置

道の駅の物産館及び軽食堂で苦慮しているハエ対策として、外からの侵入を防止するために出入り口にエアカーテンが設置されます。

道の駅なるさわ



道の駅なるさわ 9942万円 の浄化槽を整備

道の駅なるさわは災害時に防災拠点としても活用されますが、災害時に大勢の避難者にも対応できる処理能力を確保するため、国の補助金を活用して仮設トイレにも対応した浄化槽が整備されます。

なるシカくんと
ぬいぐるみ

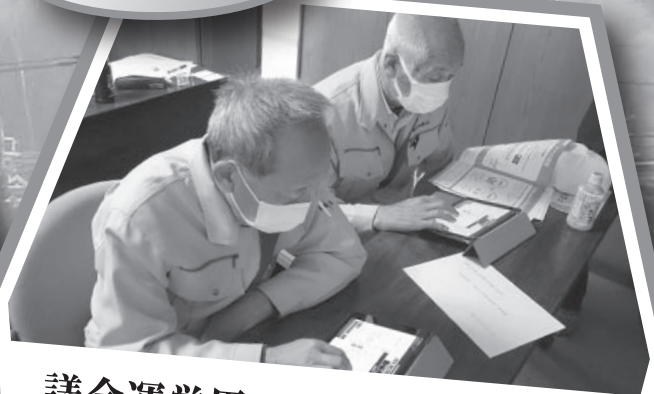


なるシカくんの ぬいぐるみを販売 47万円

観光PR用に非売品として令和元年度に製作されたなるシカくんのぬいぐるみが、今年度は販売用に300個製作されます。

ふるさと納税の返礼品としての活用も予定されています。

タブレット研修を実施



議会運営用の タブレット端末を導入 173万円

議案などのペーパーレス化へ向けて、議会運営用にタブレット端末を導入します。

文書・資料を電子化して管理することにより、紙資源の削減はもちろん、資料等作成事務に要していた時間を削減でき、職員の負担軽減にもつながります。

当初予算をチェック!

おもな議論を紹介します

予算決算常任委員会

委員長 佐藤 博 水

予算決算常任委員会に付託された令和3年度当初予算案について、3月12.16日に委員会を開催し審査した結

果、いずれも賛成全員にて原案のとおり可決すべきものと決しました。

個人県民税の納税義務者数

問 土屋文明 個人県民税徴収取扱費の算定基礎にある納税義務者数4330人の根拠は。

答 税務課長 村の人口より多くなっているが、本村に住民票がない別荘所有者(約2800人)も村県民税均等割は課税されるため、このような数字となっている。

人事評価におけるヒアリング

問 三浦雄一郎 人事評価結果を昇給にも反映させたとのことだが、年に何回ヒアリングを実施しているか。

答 総務課長 年度当初の4月に所属長と職員とで面談を行い、当年度にどのような業務をどの程度までするのか確認して年間業務計画を確定させている。また、中間面談を実施して計画の進捗状況等を確認し、2月に最終面談で業務の進捗結果(見込み)を確認している。

図書館システム (TOOL i-s)

問 小林昭一 小学校の図書館システム(TOOL i-s)とはどのようなシステムか。

答 教育課長 本にバーコードを付けて、貸し出しの際にそれを読み取って管理するシステムであり、児童別の貸し出し冊数等をデータ出力することなども可能。

遊休農地対策

問 小林清一 遊休農地がかなり増えているが、以前に対策としてトラクター等の保有者に耕作を委託する事業計画があったと思うが、令和3年度で実施予定はあるか。

答 振興課長 農作業の受委託の制度を立ち上げようと模索したが、受託者の登録が1名のみで、その方も「一人では対応しきれない」とのことで、その後も受託者がなかなか集まらないため、事業実施が困難な状況である。

村道703号線拡幅改良工事

問 渡辺正人 村道703号線拡幅工事の際に、害獣進入防止用のグレーチングを敷設することだが、通常舗装の場合との差額はどのくらいか。また、このグレーチング設置を今後増やしていく予定はあるか。

答 振興課長 費用は約300万円ほど違うと思われる。茅つけ林道沿いには防護柵の開口部が15箇所あるが、全てに設置すると膨大な事業費となるため、今回の設置による効果を確認したうえで検討していきたい。

村道改良工事路線の選定

問 渡辺次男 平成25年度の調査に基づくひび割れ率などを参考に工事路線を選定し工事を進めているようだが、調査から路線選定に至る流れは。

答 振興課長 5年に一度調査を実施しているが、今回については令和2年度調査の速報値も出ているので、それらの結果に基づき、ひび割れ率や路盤構成などを勘案して、早期に工事に着手すべき路線を選定している。

ナラ枯れ被害(*)の対応

問 三浦直樹 ナラ枯れ被害木が確認されたとのことだが、今後被害が広がることが懸念される。処理委託費が予算計上されてはいるが、予防する必要があるのでは。

答 振興課長 令和2年度に初めてナラ枯れ被害が確認されたが、被害木を伐採しくん蒸処理をして対処するしかなく、予防方法が確立されていないのが現状である。

※ナラ枯れ被害

カシノナガキクイムシが媒介するナラ菌によりミズナラ等が集団的に枯れてしまう事象。

地域おこし協力隊の人材発掘方法

問 渡辺明雄 地域おこし協力隊の人材についてはどのようにして発掘していく考えか。

答 企画課長 これまでは総務省の外郭団体である移住・交流推進機構(JOIN)が運営しているサイトにて募集を行っていたが、あまり手応えはなかった。令和3年度は、移住・定住に特化した有料サイトに掲載して募集する。掲載費用については特別交付税で財政措置される。

パソコンとタブレットの授業の特性

問 渡邊明雄 パソコン教室での授業とタブレットを活用した授業の内容や学習効果の違いは。

答 教育課長 パソコン教室では、WordやExcelを活用した総合学習や、修学旅行前後の資料・報告物・新聞等の作成などを行っている。タブレットはコロナ対策もあって前倒しで導入することとなった。休校時の遠隔授業での使用、通常授業における辞書や副教材としての使用、体育の授業で動画を撮影して動きを確認するなどといった活用が考えられる。両方の利点を活かしていきたい。

簡易水道の公営企業会計への移行

問 渡辺正人 簡易水道の公営企業会計への移行に向けて、固定資産などの台帳整備に非常に時間がかかると思うが、配水管などをどのように把握し、どのくらいの期間で台帳整備を考えているか。

答 振興課長 配水管についてはGISシステムに落とし込んでいるが、埋設年度不明の管もある。基本的には現在把握できているものを抽出し台帳整備していく予定である。施設についても現況の施設調査で対応していく。移行作業期間は令和3年度から5年度までを予定。

問 三浦雄一郎 令和3年度ではどこまでの作業を予定しているのか。

答 振興課長 水道施設や水道管等の資産調査、決算書の精査とそれに付随する過年度工事の情報把握などを行っていく。

35件の質疑がありましたが、そのうちの10件を掲載しています。

村当局には、厳しい財政状況のなか創意工夫をこらし、審査の過程で委員より出された質疑・意見を予算執行に活

かし、令和3年度も健全な財政運営を行うよう求めました。